

資源循環型施設建設候補地選定結果報告書
(第一段階)

平成23年3月

資源循環型施設建設候補地選定検討委員会

目次

はじめに	1
I ごみ処理広域化計画	1
1 計画対象地域	1
2 各市町村の減量化目標	2
3 ごみ処理に関する基本方針	2
II 現在の中間処理施設	4
III 施設建設候補地の公募	5
1 公募内容	5
2 公募結果	5
IV 建設候補地の選定	8
1 候補地の選定の手順	8
2 候補地の選定方針	9
3 評価項目の設定及び評価内容	10
4 評価結果	13
V 今後の候補地の選定の方向性	14

資料

資源循環型施設建設候補地評価表及び調査資料

資源循環型施設建設候補地施設配置図

資源循環型施設建設候補地選定検討委員会要綱、名簿

はじめに

上田地域広域連合（以下「広域連合」という。）では、上田地域広域連合ごみ処理広域化計画（平成21年10月改訂）（以下「ごみ処理広域化計画」という。）に基づき、現在、稼働しているクリーンセンター（上田、丸子、東部クリーンセンター）3箇所と不燃物処理施設（上田市、東御市）2箇所を統合し、プラザ機能（環境教育拠点施設）を有した資源循環型施設の建設を進めています。

資源循環型施設の建設候補地として応募をいただきました8箇所について、構成市町村の企画及び廃棄物担当部課長で構成する「資源循環型施設建設候補地選定検討委員会」（以下「選定検討委員会」という。）を設置し、評価に関する検討を行い候補地の評価を進めてまいりました。

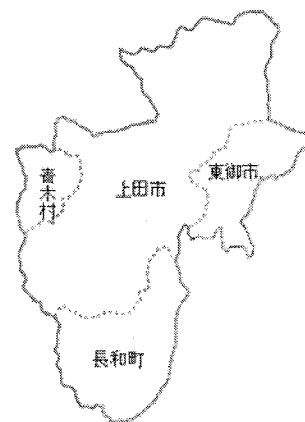
今回、候補地の第一段階の評価結果を報告書としてまとめました。

I ごみ処理広域化計画（抜粋）

1 計画対象地域

広域連合で行っているごみ処理事業については、上田市、東御市、長和町、青木村が事業対象地域であり、「ごみ処理広域化計画」はこの地域を対象とした計画です。

（東御市：北御牧地区は川西保健衛生施設組合でごみ処理をしているため、本計画には含まない。将来的課題については今後必要に応じて検討を行う。）



2 各市町村の減量化目標

ごみの減量化を進めるため、各市町村がごみの減量化・資源化の施策と新たな目標値を定め、地域が一丸となって排出抑制、減量化・資源化施策を複合的に実施するなどの積極的な取り組みを行う必要があります。

また、統合クリーンセンターの焼却能力も必要最小限の規模とすることで、施設の建設費などの経費の軽減を図ることができます。

各市町村が行うごみ減量化施策から、それぞれにごみ減量目標値を設定しました。この目標値を基に統合クリーンセンターの焼却能力を算出しています。

○ 各市町村のごみ焼却量の減量化目標値

年度 項目 市町村	平成12年度		平成20年度		平成27年度 目標値	平成20年度 比較
	実績	一人当り 日量	実績	一人当り 日量		
上田市	42,141t/年	693g/人・日	36,571t/年	624g/人・日	33,712t/年	△7.8%
東御市	4,150t/年	447g/人・日	4,346t/年	465g/人・日	3,846t/年	△11.5%
長和町	625t/年	219g/人・日	1,124t/年	427g/人・日	950t/年	△15.5%
青木村	648t/年	360g/人・日	879t/年	492g/人・日	782t/年	△11.0%
合計	47,564t/年	636g/人・日	42,920t/年	593g/人・日	39,290t/年	△8.5%

3 ごみ処理に関する基本方針

○ 基本方針

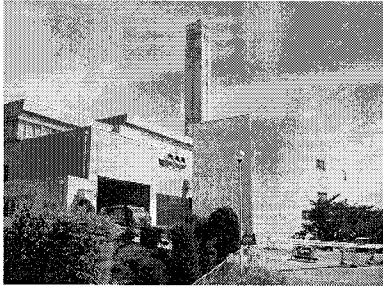
項 目		基 本 方 針
施設整備の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ・環境への負荷を低減し、安全で安定した環境にやさしい施設 ・発生するエネルギーを回収し、資源を循環利用する施設 ・周辺の自然環境との調和を図り、環境教育の拠点となる施設 ・施設建設地の基盤整備と地域振興を図り、快適な生活環境を創造します。
収集・運搬		<ul style="list-style-type: none"> ・統合クリーンセンターへの収集・運搬は、現在各市町村で実施している方式を継続するものとします。 ・建設場所が決定した段階において、運搬距離の偏りに対する平準化等の対策が必要な場合は検討を行います。
資 源 循 環 型 施 設	処理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・処理能力は150トン/日で整備を行います。
	処理方式	<ul style="list-style-type: none"> ・処理方式については、ストーカ炉とし、灰溶融炉の導入は行わない方針とします。
	炉の数	<ul style="list-style-type: none"> ・炉の数は、75トン炉2基の計画とします。
	エネルギー回収施設	<ul style="list-style-type: none"> ・熱回収による発電施設の整備を行います。 ・余熱利用の積極的な整備を行います。 ・施設建設地域の地域振興策としての施設整備を行います。
	その他資源の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却灰の資源化を積極的に行います。 ・雨水、施設排水の利用及び太陽光発電等の導入を積極的に行います。
統合リサイクルプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市と東御市の不燃物処理資源化施設を統合し、不燃物の処理、一時保管を行う施設として整備します。 ・リサイクルプラザでの受け入れ品目は、不燃ごみ、可燃性粗大ごみ、有害ごみを対象とし、施設建設に当たっては、できる限り民間企業に任せ、必要最小限の施設として整備し、施設規模は14トン/日以下とします。 ・プラザ機能は、環境教育の拠点施設として位置付け、市民参加による施設づくりを目指します。 	
施設の敷地面積の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・資源循環型施設の面積は、20,000㎡程度とします。 ・施設建て替え分の面積は含めません。 	

項 目	基 本 方 針
最終処分場	<ul style="list-style-type: none"> ・最終処分は民間委託も考えられますが、恒久的に処理を行えるという確実性がないことから、自区域内処理を基本とし最終処分場の建設を行います。 ・統合クリーンセンター稼働時に最終処分場が整備されていない場合は、資源化率の向上を図るため、民間委託による処理も行うものとします。 ・最終処分場の建設場所については、資源循環型施設を建設する市町村以外の市町村が受け持つことを基本とします。
生ごみ堆肥化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村において、地域に適した施設整備・運営を行う方針とします。
現施設の延命化	<ul style="list-style-type: none"> ・現三クリーンセンターはそれぞれにおいて耐用年数が迫ってきているため、資源循環型施設の稼働まで適正な維持管理を行い、延命化を図るものとします。
施設建設費等の負担	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会形成推進交付金事業を活用した整備とします。 ・施設建設費の負担については、すべての市町村が統合による受益を享受することから、均等割りの組み入れを検討します。 ・均等割り以外の負担割合は、建設時は減量目標割とし、3年度目以降は前年度の投入割とします。 ・地域振興に係る事業費の負担についても、建設費同様に各市町村で応分の負担をするものとします。 ・最終処分場の建設についても同様の考え方とします。

II 現在の間処理施設

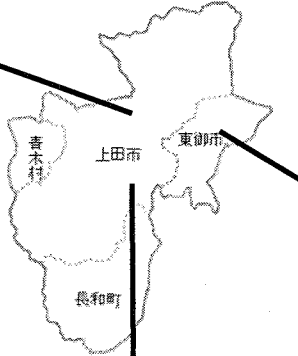
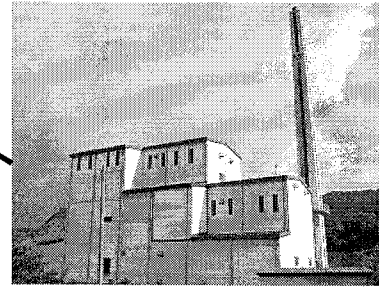
上田クリーンセンター

- ・処理能力：200 トン/日 (24 時間運転)
- ・稼働年月：昭和 61 年 4 月
- ・搬入市町村
上田市（上田・真田）、青木村



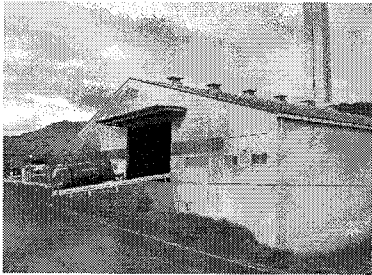
東部クリーンセンター

- ・処理能力：30 トン/日 (8 時間運転)
- ・稼働年月：平成 5 年 9 月
- ・搬入市町村
東御市（東部）



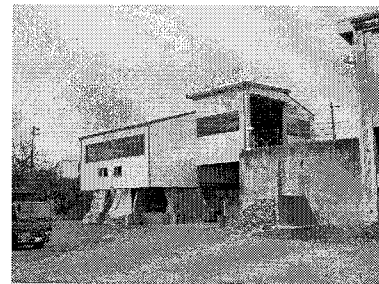
上田市不燃物処理資源化施設

- ・処理能力：20 トン/日
- ・稼働年月：昭和 61 年 1 月
- ・搬入市町村
上田市（上田、真田、武石）



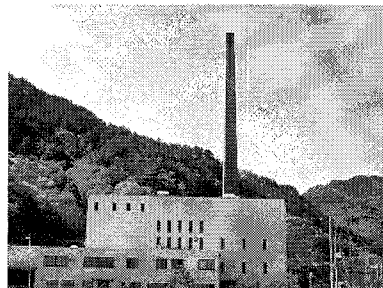
東御市不燃物処理施設

- ・処理能力：10 トン/日
- ・稼働年月：昭和 53 年 3 月
- ・搬入市町村
東御市（東部）



丸子クリーンセンター

- ・処理能力：40 トン/日 (16 時間運転)
- ・稼働年月：平成 4 年 4 月
- ・搬入市町村
上田市（丸子、武石）、長和町



Ⅲ 施設建設候補地の公募


1 公募内容

- ・ 応募の範囲 : 上田市、東御市、長和町、青木村の地域
- ・ 応募の条件 : 施設用地として概ね2ha程度
- ・ 応募の方法 : 自治会長・区長又は地権者有志・団体による応募
- ・ 応募の期間 : 平成21年12月1日(火)から平成22年5月31日(月)まで


2 公募結果

公募の結果、次の8箇所から応募いただきました。

① 上田市秋和字飯島地籍外

<ul style="list-style-type: none">○ 応募者 地権者による応募○ 所在地 上田市秋和字飯島地籍○ 応募面積 4.6ha(範囲の中で)	
---	---

② 上田市常磐城字蟹町地籍外

<ul style="list-style-type: none">○ 応募者 地権者による応募○ 所在地 上田市常磐城字蟹町地籍外○ 応募面積 2.3ha	
--	--

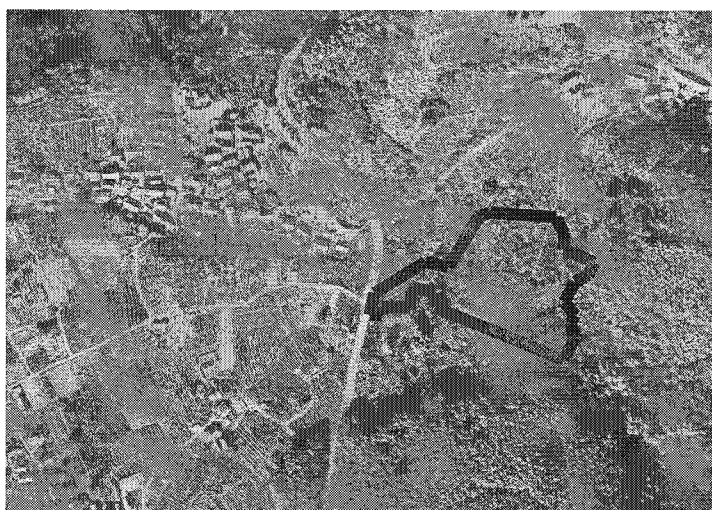
③ 上田市常磐城三丁目地籍

- 応募者
地権者による応募
- 所在地
上田市常磐城三丁目地籍
- 応募面積
1.7ha



④ 上田市真田町本原字城満地籍外

- 応募者
地権者による応募
- 所在地
上田市真田町本原字城満地籍外
- 応募面積
2.1ha



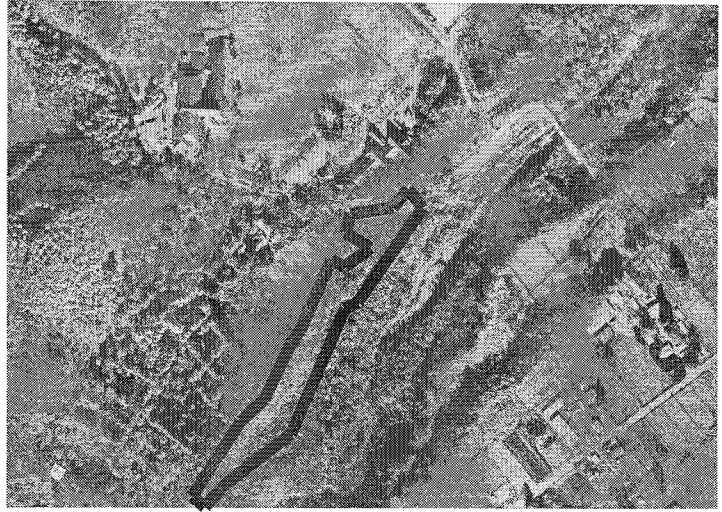
⑤ 上田市生田字的場地籍外

- 応募者
地権者による応募
- 所在地
上田市生田字的場地籍外
- 応募面積
2.7ha



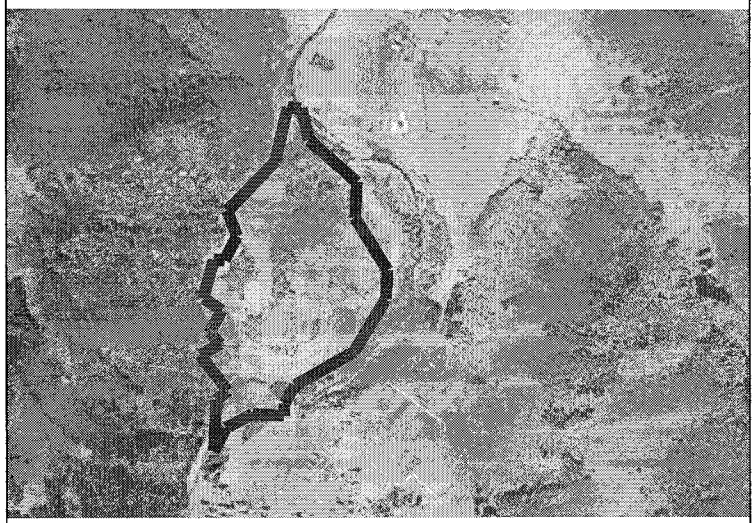
⑥ 上田市武石上本入字内之山地籍

- 応募者
地権者による応募
- 所在地
上田市武石上本入字内
之山地籍
- 応募面積
2.0ha



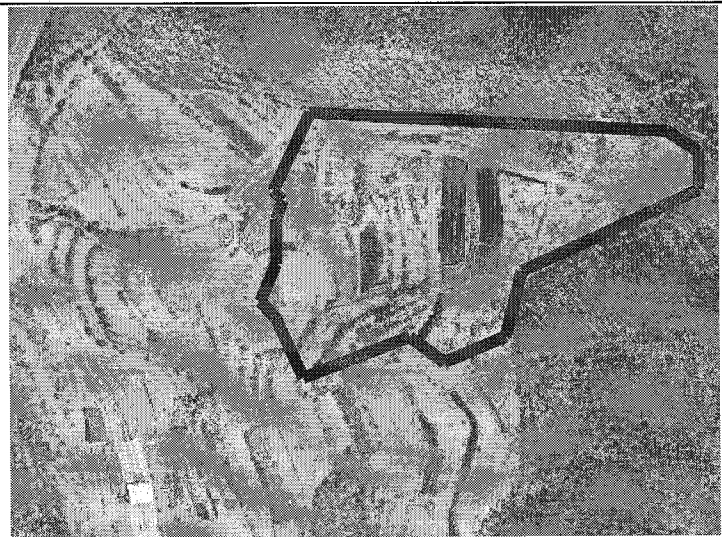
⑦ 長和町大門字日山地籍

- 応募者
自治会による応募
- 所在地
長和町大門字日山地籍
- 応募面積
9.8ha(範囲の中で)



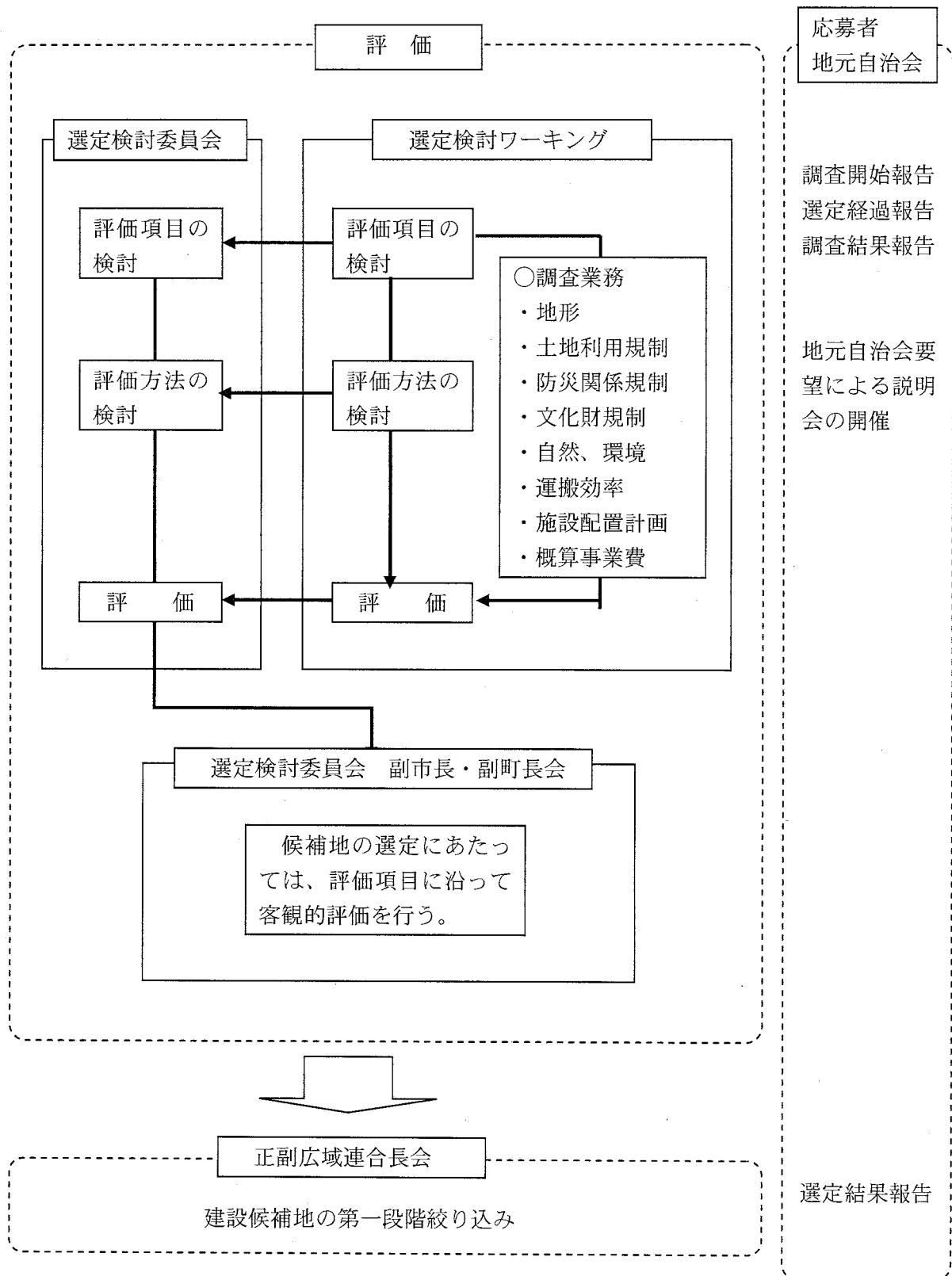
⑧ 長和町和田字牧ノ沢地籍

- 応募者
地権者による応募
- 所在地
長和町和田字牧ノ沢地籍
- 応募面積
5.7ha(範囲の中で)



IV 建設候補地の選定

1 候補地の選定の手順



2 候補地の選定方針

選定方針

段階方式による選定

候補地の選定については、段階方式により行うものとし、第一段階として応募地8箇所を複数箇所に絞り込み、その後、第二段階として更なる適地の選定を行う。

第一段階評価

- ・ 評価項目（15項目）について、項目ごとの基本的要素に基づき評価をする。
- ・ 評価は、応募地ごとの客観評価（絶対評価）を基本とし、特定項目への重み付けはしない。
- ・ 評価の結果は、A（優） B（良） C（可）でランク付けする。
- ・ 評価項目ごとのランク付けの結果を総計し、A評価が10項目以上（全評価項目の2/3以上）の応募地を適地とする。

3 評価項目の設定及び評価内容

○ 評価項目の設定

調査項目(当初に設定した評価項目)				
大	中	小分類	項目	
候補地の状況	地形	地形	形状	
		土地利用計画	土地利用計画	
候補地及び周辺地域の規制関係	規制	農地	農振農用地 土地改良事業	
		防災	河川保全区域	
			砂防指定地	
			土砂災害等のリスク	
	文化財	埋蔵文化財		
	周辺の土地利用状況	生活環境の保全	水源地等	水源地等からの距離
			周辺の幹線道路の状況	周辺の幹線道路の状況
幹線道路から候補地までの道路状況			幹線道路から候補地までの道路状況	
住宅の分布状況			直近の住宅の日照の影響	
自然環境の保全		希少動植物	国・県・市町村指定の絶滅危惧種 地域で保全している動植物	
		景観	景観	
施設整備・経済性	効率	運搬効率	各市町村からの運搬効率	
	施設	施設プラント用水等	施設プラント用水等	
	経済性	施設の取得費・造成費等	土地取得費 造成費等	
		インフラ整備事業費	周辺のインフラ整備事業費	
			20項目	

調査項目を精査検討し、第一段階絞り込みを行う評価項目として15項目を設定	第一段階絞り込みの評価項目
	形状
	施設配置
	(該当なし)
	農振農用地等の有無
	河川保全区域の有無
	砂防指定地の有無
	土砂災害等のリスク(土砂災害警戒区域等の指定の有無)
	洪水ハザードマップで表示されている浸水深
	埋蔵文化財包蔵地の有無
	(該当なし)
	(全地区整備済み)
	幹線道路から候補地までの道路状況
	付近の住宅分布の状況
	希少動植物の有無
(第二段階での評価項目とする。)	
各市町村からの運搬距離	
施設プラント用水及び生活用水の確保	
土地取得費	
造成費等	
(施設プラント用水の確保で評価)	
15項目	

○ 評価項目の内容

項 目			評 価 内 容	評価		
候補地の状況	地形	地形	形状	・ 整形な平坦地である。	A	
			形状	・ 不整形な平坦地である。	B	
			形状	・ 傾斜地である。	C	
		施設配置	施設配置	・ 焼却施設、リサイクルプラザが機能的に配置できる。	A	
			施設配置	・ 焼却施設、リサイクルプラザの機能的な配置に制約がある。	B	
			施設配置	・ 焼却施設、リサイクルプラザの機能的な配置が困難である。	C	
候補地及び周辺地域の規制関係	規	農地	農振農用地等の有無	・ 農業振興地域農用地区域の指定でない。	A	
			農振農用地等の有無	・ 農業振興地域農用地区域の指定である。	B	
			農振農用地等の有無	・ 農業振興地域農用地区域の指定があり、土地改良事業等の公共投資が行われている。	C	
		防 災	河川保全区域の有無	河川保全区域の有無	・ 河川保全区域でない。	A
				河川保全区域の有無	・ 河川保全区域内であるが、施設への影響は軽微である。	B
				河川保全区域の有無	・ 河川保全区域内であり、護岸等の対策工事が必要となる。	C
			砂防指定地の有無	砂防指定地の有無	・ 砂防指定地でない。	A
				砂防指定地の有無	・ 砂防指定地であるが、施設への影響は軽微である。	B
				砂防指定地の有無	・ 砂防指定地であり、土砂流出対策等の工事が必要となる。	C
	制	土砂災害等のリスク (土砂災害警戒区域等の指定の有無)	土砂災害等のリスク (土砂災害警戒区域等の指定の有無)	・ 土砂災害警戒区域等の指定でない。	A	
			土砂災害等のリスク (土砂災害警戒区域等の指定の有無)	・ 土砂災害警戒区域等の指定であるが、施設への影響は軽微である。	B	
			土砂災害等のリスク (土砂災害警戒区域等の指定の有無)	・ 土砂災害警戒区域等の指定であり、対策工事が必要となる。	C	
		洪水ハザードマップで表示されている浸水深	洪水ハザードマップで表示されている浸水深	・ 浸水深の表示はない。	A	
			洪水ハザードマップで表示されている浸水深	・ 浸水深が1.0m未満である。	B	
	洪水ハザードマップで表示されている浸水深		・ 浸水深が1.0～2.0m未満である。	C		

項 目			評 価 内 容	評価	
候補地及び周辺地域の規制関係	規 制	文化財 埋蔵文化財包蔵地の有無	・埋蔵文化財包蔵地でない。	A	
			・埋蔵文化財包蔵地であるが、施設に影響がない。	B	
			・埋蔵文化財包蔵地であり、大規模な発掘調査が必要となる。	C	
周辺土地利用状況	生活環境の保全	幹線道路から候補地までの道路状況	・現況の整備済み道路が利用できる。	A	
			・軽微な用地取得・道路整備で対応が可能である。	B	
			・用地取得の面積が多く、かつ整備費が多額である。	C	
	住宅の分布状況	付近の住宅分布の状況	・候補地付近に住宅、事務所がない。	A	
			・候補地付近に住宅、事務所があるが少ない。	B	
			・候補地付近に住宅、事務所が多い。	C	
	自然環境の保全	希少動植物	・希少動植物の生息が確認されていない。	A	
			・猛禽類等の行動圏になっている。	B	
			・候補地及び周辺に希少動植物の生息が確認されている。	C	
施設整備・経済性	効 率	運搬効率	・候補地の中で運搬距離が短い地域である。	A	
			・候補地の中で運搬距離がやや長い地域である。	B	
			・候補地の中で運搬距離が長い地域である。	C	
	施 設	施設プラント用水及び生活用水の確保	・応募地付近に上水道設備が整備されている。	A	
			・応募地の近隣まで上水道設備が整備されている。	B	
			・上水道設備が周辺に整備されていない。	C	
	経 済 性	施設の取得費・造成費用等	土地取得費	・候補地の中で土地取得費が少額である。	A
				・候補地の中で土地取得費がやや多額である。	B
				・候補地の中で土地取得費が多額である。	C
		造成費等	・候補地の中で造成費等が少額である。	A	
			・候補地の中で造成費等がやや多額である。	B	
			・候補地の中で造成費等が多額である。	C	

4 評価結果

選定方針(「A」評価が10項目以上となる地区)に基づき、次の評価表のとおり、第一段階では、①上田市秋和字飯島地籍、②上田市常磐城字蟹町地籍外、⑦長和町大門字日山地籍の3箇所を候補地として適地であると判定しました。

○ 評価表

評価項目	候補地 (地籍)								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
	上田市 秋和字 飯島	上田市 常磐城 字蟹町 外	上田市 常磐城 三丁目	上田市 真田町 本原字 城溝外	上田市 生田字 的場外	上田市 武石上 本入字 内之山	長和町 大門字 日山	長和町 和田字 牧ノ沢	
1 形状	A	A	B	C	C	B	C	C	
2 施設配置	A	A	B	B	B	C	A	A	
3 農振農用地等の有無	C	A	A	C	B	A	B	C	
4 河川保全区域の有無	A	A	A	A	A	C	A	A	
5 砂防指定地の有無	A	A	A	A	A	C	A	A	
6 土砂災害等のリスク	A	A	A	B	A	B	A	A	
7 洪水ハザードマップで表示されている浸水深	B	B	C	A	A	A	A	A	
8 埋蔵文化財包蔵地の有無	A	A	A	A	B	A	A	B	
9 幹線道路から候補地までの道路状況	A	A	A	A	C	C	A	C	
10 付近の住宅分布の状況	B	B	C	B	A	B	A	A	
11 希少動植物の有無	A	A	A	B	A	B	B	B	
12 各市町村からの運搬距離	A	A	A	B	A	C	C	C	
13 施設プラント用水及び生活用水の確保	A	A	A	C	C	C	C	C	
14 土地取得費	C	C	C	A	B	A	A	A	
15 造成費等	A	A	B	C	B	B	A	B	
集計	A	11	12	9	6	7	4	10	7
	B	2	2	3	5	5	5	2	3
	C	2	1	3	4	3	6	3	5

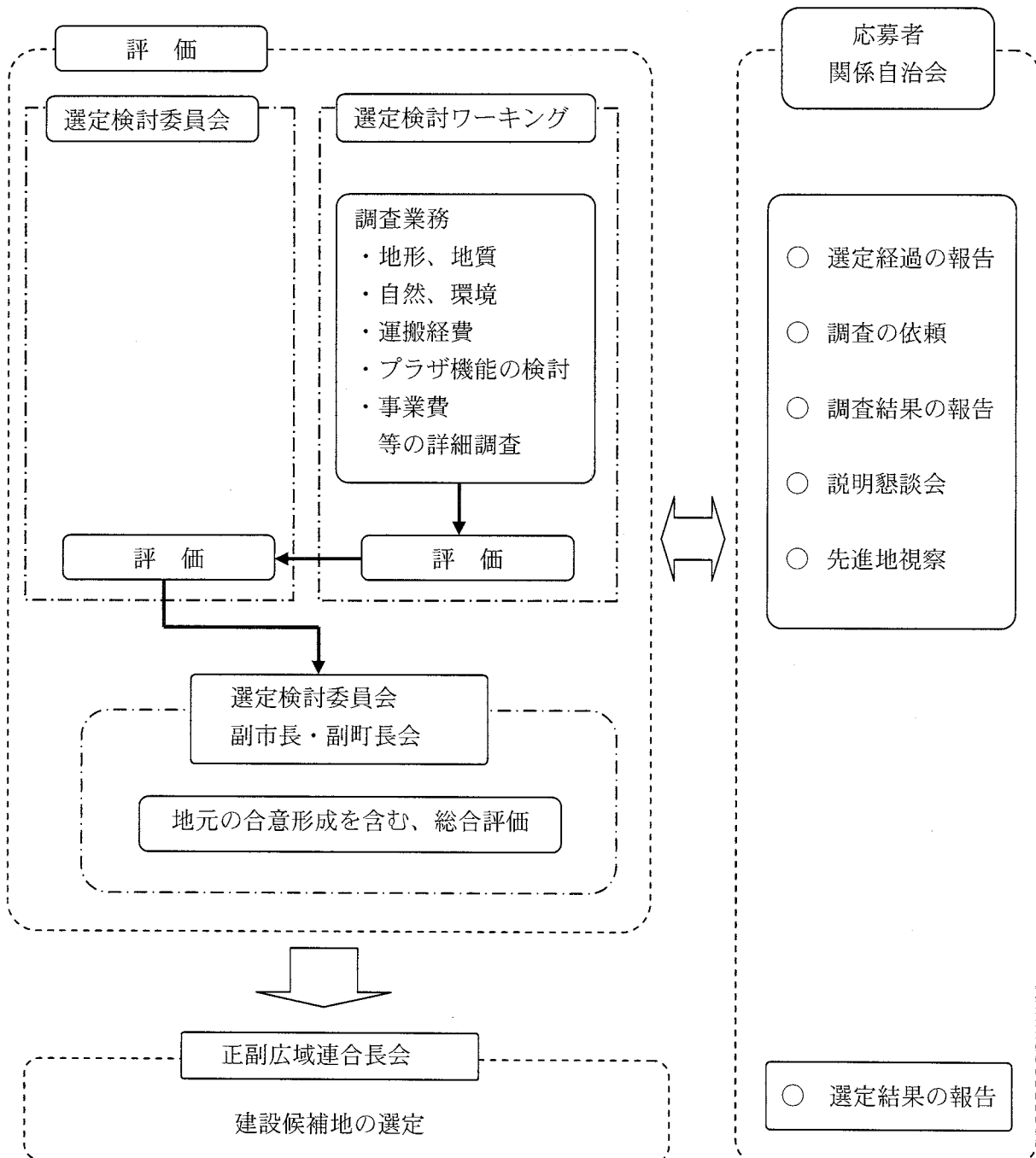
V 今後の候補地の選定の方向性

今後における、第二段階の候補地の選定にあたっては、次により進めることを基本とする。

第二段階評価

- ・ 評価項目（第1段階評価の15項目）について、項目ごとに詳細な調査を実施し、当該結果を踏まえたより密度の高い内容に基づく評価を行う。
- ・ 評価については、評価項目の重要度を勘案して重み付けの設定も考慮する。
- ・ 新たに「地元の合意形成」に係る評価項目を設定し、評価にあたっては総合的な判断に基づき適地を選定する。

◆ 第二段階での候補地の選定の手順



資源循環型施設建設候補地選定評価表及び調査資料

資源循環型施設建設候補地選定評価表及び調査資料

項目	候補地		候補地(地籍)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧				
	候補地	面積	候補地	面積	上田市	上田市	上田市	上田市	上田市	上田市	長和町	長和町				
候補地の面積	秋和字飯島	46,078㎡	常磐城字蟹町外	23,083㎡	常磐城三丁目	17,400㎡	真田町本原字城溝外	21,039㎡	生田字的場外	27,362㎡	武石上本入字内之山	20,265㎡	大門字日山	98,398㎡	和田字牧ノ沢	56,594㎡
	候補地の状況	A	A	A	B	B	C	C	C	B	C	C	C	C	C	
候補地の形状	形状	整形な平坦地	整形な平坦地	整形な平坦地	不整形な平坦地	不整形な平坦地	傾斜地	傾斜地	傾斜地	不整形な平坦地	傾斜地	傾斜地	傾斜地	傾斜地	傾斜地	
	評価	A	A	A	B	B	B	B	B	C	C	C	A	A		
候補地の地質	地質	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	
	地質(表層地質図・国土交通省IP)	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	第四紀 完新世 沖積層	
候補地の規制	標高	430m	434m	436m	850m	850m	850m	605m	605m	1,005m	806m	1,251m	806m	1,251m		
	近隣層の位置(産業技術研究所IP)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
候補地及び周辺地域の規制関係	都市計画	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	
	都市計画用途	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	
候補地及び周辺地域の規制関係	周辺用途	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	工業専用地域	
	国選定重要伝統的建造物群保存地区(県IP・文化財)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
候補地及び周辺地域の規制関係	土地利用計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	周辺の土地利用計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

項 目	候 補 地 (地籍)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
	上田市	上田市	上田市	上田市	上田市	上田市	上田市	上田市	長和町	長和町	
候 補 地 の 面 積	秋和字飯島	常磐城字蟹町外	46.078㎡	23.083㎡	17.400㎡	21.039㎡	27.362㎡	20.265㎡	98.398㎡	56.594㎡	
	農地	農地	農振農用地 45.717㎡	—	—	農振農用地 20.310㎡	農振農用地 6.891㎡	—	農振農用地 56.601㎡	農振農用地 44.490㎡	
規 制	農地	農地	事業名：団体営土地改良 総合整備事業 事業年度：S57～S62 受益面積：20.11ha 事業費：169,800千円 完了公告年月日： H5.7.29 補助金返還の有無：要詳 細調査	—	—	事業名：団体営土地改良 総合整備事業(本原・十 林寺地区) 事業年度：S55～S62年度 受益面積：72ha 事業費：700,170千円 知がらん、農道、耕作 道、区画整理工、畑かん 調整水槽 完了公告：S63.03 補助金返還の有無：要詳 細調査	事業名：農道がらん、非 水路事業(左岸幹線用水 路) 事業年度：S44～S49年度 受益面積：631ha 事業費：552,005千円 完了公告：S50.03.31 補助金返還の有無：要詳 細調査	農振農用地	事業名：農道がらん、非 水路事業(左岸幹線用水 路) 事業年度：S44～S49年度 受益面積：631ha 事業費：552,005千円 完了公告：S50.03.31 補助金返還の有無：要詳 細調査	事業名：農道がらん、非 水路事業(左岸幹線用水 路) 事業年度：S44～S49年度 受益面積：631ha 事業費：552,005千円 完了公告：S50.03.31 補助金返還の有無：要詳 細調査	事業名：開拓パイロット 事業(S46年事業名変 更：農地造成事業)、所 管地方事務所農政課 事業年度：S45～S46年度 受益面積：33.6ha 事業費：66,000千円 完了公告：— 補助金返還の有無：要詳 細調査
	農振農用地等の有無	農振農用地等の有無	—	—	—	—	—	—	—	—	—
候 補 地 及 び 周 辺 地 域 の 規 制 関 係	園立・国定自然公園区域	郷土環境保全区域	—	—	—	—	—	—	—	—	
	鳥獣保護区 鳥獣保護区(特別保護地区)	自然環境保全区域 自然環境保全区域 風致地区 緑地保全地区 公園	—	—	—	—	—	—	—	—	
評価	農地の状況	農地の状況	農地の状況	農地の状況	農地の状況	農地の状況	農地の状況	農地の状況	農地の状況	農地の状況	
項 目	秋和字飯島	常磐城字蟹町外	常磐城三丁目	常磐城字蟹町外	常磐城三丁目	真田町本原字城瀬外	生田字の場外	武石上本入字内之山	大門字日山	和田字牧ノ沢	

候補地(地籍)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
項目	候補地の面積	46.078㎡	23.083㎡	17.400㎡	21.039㎡	27.362㎡	20.265㎡	98.398㎡	56.594㎡
	国有林(県・市・町資料) 保安林(県・市・町資料)	—	—	—	—	—	—	—	—
候補地及び周辺地域の規制関係	河川の保全区域	A	A	A	A	A	C	A	A
	状況	—	—	—	—	—	—	—	—
規制	砂防指定地	A	A	A	A	A	C	A	A
	状況	—	—	—	—	—	—	—	—
候補地及び周辺地域の規制関係	土砂災害等リスク	A	A	A	B	A	B	A	A
	状況	—	—	—	—	—	—	—	—
候補地及び周辺地域の規制関係	洪水ハザードマップで表示されている深さ	B	B	C	A	A	A	A	A
	状況	—	—	—	—	—	—	—	—
候補地及び周辺地域の規制関係	埋蔵文化財包蔵地	A	A	A	A	B	A	A	B
	状況	—	—	—	—	—	—	—	—
候補地及び周辺地域の規制関係	文化財(史跡・名勝・天然記念物)(県・市町村ホームページ)	—	—	—	—	—	—	—	—
	地域で保全している施設(応募他自治会からの情報)	—	—	—	—	—	—	—	—
候補地の面積		46.078㎡	23.083㎡	17.400㎡	21.039㎡	27.362㎡	20.265㎡	98.398㎡	56.594㎡
国有林(県・市・町資料)		—	—	—	—	—	—	—	—
保安林(県・市・町資料)		—	—	—	—	—	—	—	—
評価		A	A	A	A	A	C	A	A
状況		—	—	—	—	—	—	—	—
評価		A	A	A	B	A	B	A	A
状況		—	—	—	—	—	—	—	—
評価		B	B	C	A	A	A	A	A
状況		—	—	—	—	—	—	—	—
評価		A	A	A	A	B	A	A	B
状況		—	—	—	—	—	—	—	—
評価		A	A	A	A	B	A	A	B
状況		—	—	—	—	—	—	—	—

候補地及び周辺地域の規制関係 (原H.P、上小長野園地等 水源現況図等)	候補地の面積	候補地の位置						⑧
		①	②	③	④	⑤	⑥	
候補地	46,078㎡	上田市	上田市	上田市	上田市	上田市	上田市	長和町
項目	秋和宇飯島	常盤城字蟹町外	常盤城三丁目	真田町原本字城溝外	生田字的場外	武石上本入字内之山	大門字日山	和字牧ノ沢
水源	—	—	—	周辺 ・熊久保湧水地(東800m付近)	—	周辺 ・長坂湧水地(南西1,200m付近)	周辺 ・窪城湧水地(東1,100m付近) ・入大門湧水地(南1,400m付近)	周辺 ・本沢湧水地(南1,700m付近) ・黒崎の水名水広場の水源(南400m付近) ・候補地内畑消毒用の水道の水源(南西400m付近)
水道水源保全地区	—	—	—	—	—	—	—	—
浄水場	—	—	—	周辺 ・石舟浄水場(北西800m付近) ・赤井浄水場(南南東800m付近)	—	—	—	—
配水地	—	—	—	周辺 ・熊久保配水地(東300m付近) ・本原中央配水地(南西1,000m付近) ・赤井配水地(南南東800m付近)	周辺 ・尾野山配水地(北東1,200m付近) ・茂沢配水地(北東1,500m付近)	周辺 ・上本入第1配水地(南西1,300m付近) ・上本入第2配水地(南西600m付近) ・上本入第3配水地(南東500m付近)	周辺 ・本沢配水地(南900m付近)	—
水汲み場	—	—	—	—	—	—	—	—
河川取水	—	—	—	—	—	—	隣接 ・中部電力取水施設	—
幹線道路から候補地までの道路状況	評価	幹線道路から候補地までの道路状況	状況	状況	状況	状況	状況	状況
		幹線道路から候補地までの道路状況	状況	状況	状況	状況	状況	状況
生活環境の保全	周辺土地利用状況	幹線道路から候補地までの道路状況	状況	状況	状況	状況	状況	状況
		幹線道路から候補地までの道路状況	状況	状況	状況	状況	状況	状況
付近の住宅分布の状況	住宅の分布状況	付近の住宅分布の状況	状況	状況	状況	状況	状況	状況
付近の住宅分布の状況	住宅の分布状況	付近の住宅分布の状況	状況	状況	状況	状況	状況	状況

項目	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		⑧	
	上田市	秋和字飯島	上田市	常磐城字蟹町外	上田市	常磐城三丁目	上田市	真田町本原字城瀬外	上田市	生田字的場外	上田市	武石上本入字内之山	上田市	大門字日山	長和町	和和町
候補地の面積	46,078㎡	23,083㎡	17,400㎡	21,039㎡	27,362㎡	20,265㎡	98,398㎡	56,594㎡								
	A	A	A	B	A	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B
自然環境の保全	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無
	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無	希少動植物の有無
周辺土地利用状況	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観
	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観	景観
公共施設の分布状況	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園	保育園
	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター	児童センター
周辺土地利用状況	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校	小中学校
	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校	高等学校
周辺土地利用状況	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所	病院診療所
	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設	老人保健施設
周辺土地利用状況	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設	文化施設
	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園

候補地(地籍)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
項目		上田市 秋和字飯島	上田市 常磐城字蟹町外	上田市 常磐城三丁目	上田市 真田町本原字城溝外	上田市 生田字的場外	上田市 武石上本入字内之山	長和町 大門字日山	長和町 和田字牧ノ沢		
候補地の面積	施設	46,078㎡	23,083㎡	17,400㎡	21,039㎡	27,362㎡	20,265㎡	98,398㎡	56,594㎡		
	施設プラント用水及び生活用水の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・河川に隣接 ・周辺の地下水利用 ・下水処理センター ・過去に井戸ラサ ・アグアプラサ ・井戸1箇所(40m)で ・プール、トイレ等に ・使用。50ℓ～100ℓ/日 ・程度 ・上水道 候補地から取入 ・れ口までの距離×40,000 ・円/㎡の概算費用 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川に隣接 ・周辺の地下水利用 ・清浄圏は2箇所 ・(40m、60m)の井戸 ・を1箇所(40m)を ・使用。1000ℓ/日程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川に隣接 ・周辺の地下水利用 ・クリーニングセンターは ・井戸を2箇所使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の地下水利用 ・なし ・隣接の赤井からポンプ ・場を設け、施設までの ・配管が必要。施設用水と ・しての水量は現状では不 ・可(真田自治センター上 ・下水道課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の地下水利用 ・なし ・市水道 ・トンボハウス付近でポ ・ンプ場設置し、施設まで ・配管が必要。水量は現状 ・で可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川に隣接 ・周辺の地下水利用 ・なし ・市水道 ・上段の林道経由で別荘 ・地・線路区へ供給。水量 ・は現状で可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川に隣接 ・周辺の地下水利用 ・なし ・町水道(大門) ・応募地側400m夢か ・ない橋南側から引込が必 ・要 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の地下水利用 ・なし ・町水道(男女倉) ・応募地側500m男女倉 ・公民館前から引込みが必 ・要 		
施設プラント用水等	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設の必要の有無 ・必要なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設の必要の有無 ・必要なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設の必要の有無 ・必要なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設の必要の有無 ・必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設の必要の有無 ・必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設の必要の有無 ・必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設の必要の有無 ・必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設の必要の有無 ・必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設の必要の有無 ・必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設の必要の有無 ・必要 	
施設設備・経済性	土地取得費	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産税の近傍宅地率 ・備(鑑定評価の7割)に ・率(宅地1、田・畑0.5、 ・山林・原野等0.1)をか ・け算出した概算用地費 ・150,000千円 ・用地面積 ・20,000㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・180,000千円 ・用地面積 ・23,083㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・280,000千円 ・用地面積 ・15,130㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・32,000千円 ・用地面積 ・21,039㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・72,000千円 ・用地面積 ・27,362㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・14,000千円 ・用地面積 ・20,265㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・38,000千円 ・用地面積 ・27,900㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・19,000千円 ・用地面積 ・32,000㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・40,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・62,000千円
	造成費等	<ul style="list-style-type: none"> ・42,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・42,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設物、処理水補施設撤 ・去の課題あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・800,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・90,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・90,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・32,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・62,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域外 ・候補地から取入 ・れ口までの距離×70,000 ・円/㎡の概算費用 ・合併浄化槽設置可 	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域外 ・候補地から取入 ・れ口までの距離×70,000 ・円/㎡の概算費用 ・合併浄化槽設置可
インフラ整備費	下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域 ・候補地までは下水道課で ・敷設 	同左	同左	<ul style="list-style-type: none"> ・合併浄化槽区域 	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域外 ・候補地から取入 ・れ口までの距離×70,000 ・円/㎡の概算費用 ・合併浄化槽設置可 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併浄化槽区域 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併浄化槽区域 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併浄化槽区域 		
	A	11	12	9	6	7	4	10	7		
	B	2	2	3	5	5	5	2	3		
C	2	1	3	4	3	3	6	3	5		
集計											

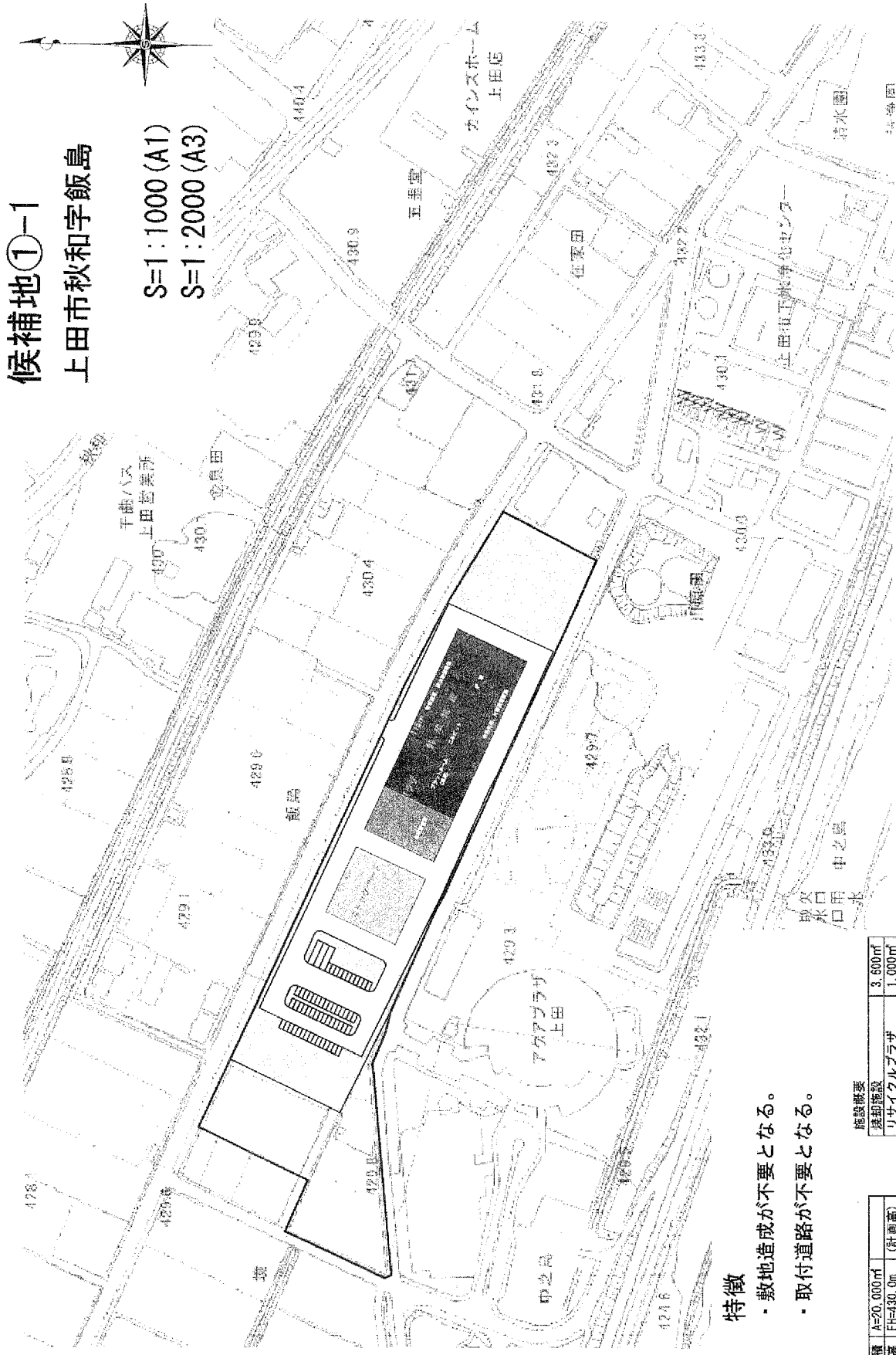
資源循環型施設建設候補地の施設配置図

候補地①-1

上田市秋和字飯島

S=1:1000 (A1)

S=1:2000 (A3)



特徴

- 敷地造成が不要となる。
- 取付道路が不要となる。

施設概要

採掘施設	3,600㎡
リサイクルプラザ	1,000㎡
ストックヤード	1,500㎡
駐車場(大型)	3台
駐車場(普通車)	50台

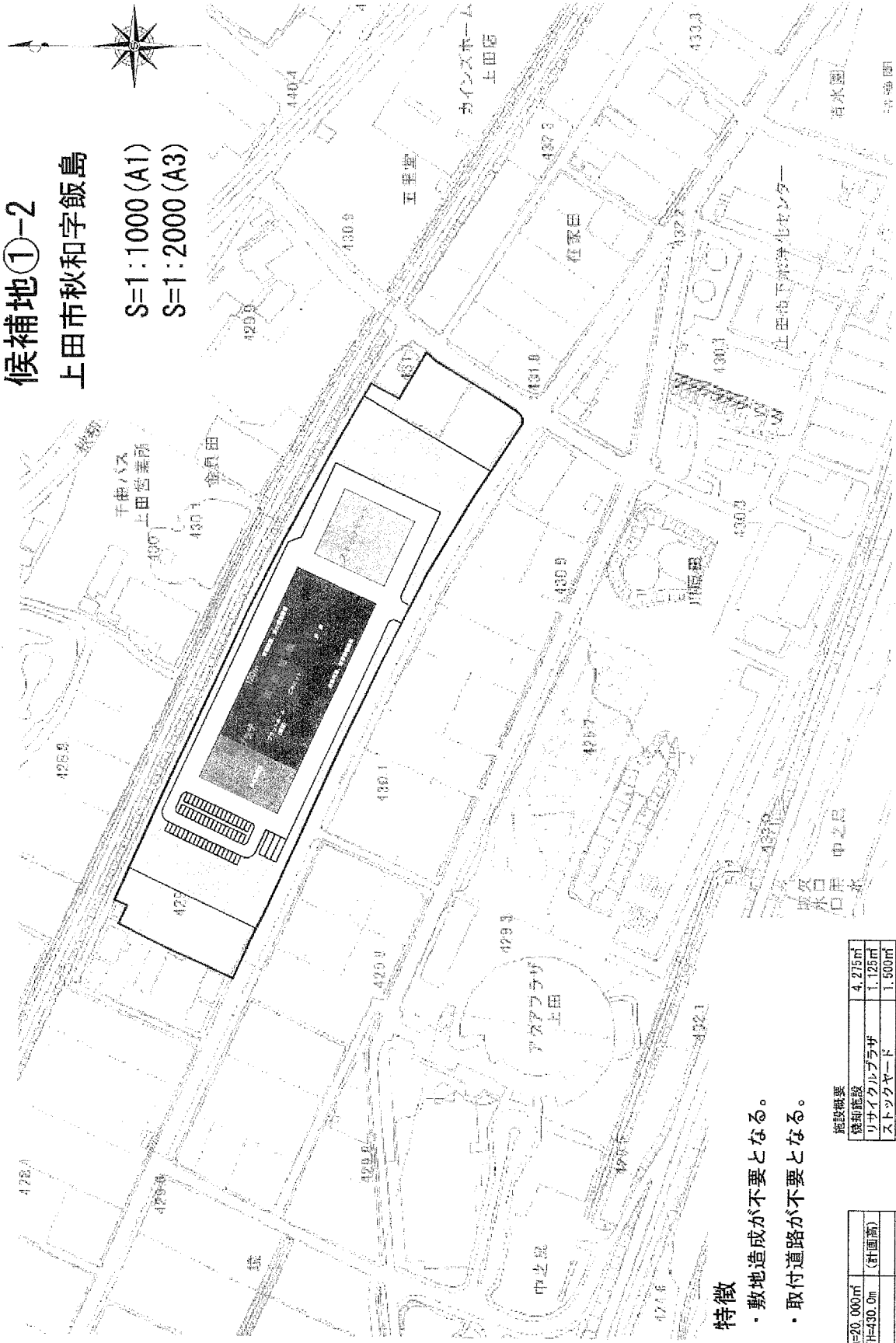
平地面積	A=20,000㎡	
平地高差	FH=430.0m	(計画高)
緑地面積	A=6,400㎡	
管理道路面積	A=6,800㎡	
駐車場面積	A=700㎡	

候補地①-2

上田市秋和字飯島

S=1:1000 (A1)

S=1:2000 (A3)



特徴

- ・敷地造成が不要となる。
- ・取付道路が不要となる。

平均面積	A=20,000㎡	
平均標高	FH=430.0m (計画高)	
緑地面積	A=6,700㎡	
算出植樹量	A=5,700㎡	
駐車場面積	A=700㎡	

施設概要

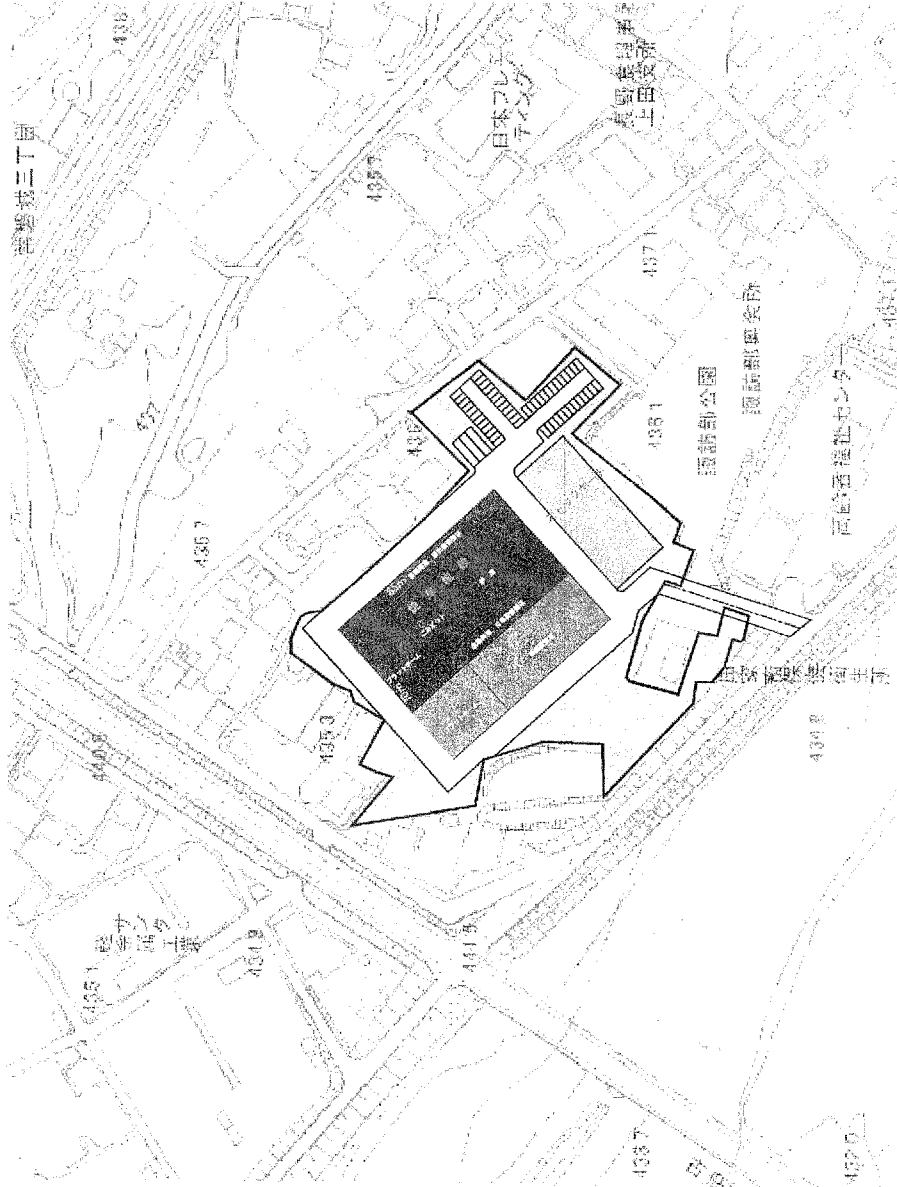
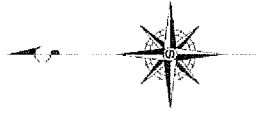
発着施設	4,275㎡
リサイクルプラザ	1,125㎡
ストックヤード	1,500㎡
駐車場 (大型)	3台
駐車場 (普通車)	50台

候補地③

上田市常磐城三丁目

S=1:1000 (A1)

S=1:2000 (A3)



候補地④

上田市真田町本原字城満

S=1:1000 (A1)

S=1:2000 (A3)

特徴

- ・残土量が120,000m³となり、その処理が困難となる。
- ・施設配置に必要な平場を確保するため、上段の切土法を1:0.3の急勾配とし擁壁を設置する。
- ・取付道路がL=117mとなる。
- ・場内管理道路の勾配が10%で、上段への管理道路にも擁壁が必要となる。
- ・敷地内に農業用の送水管が通っており、その上部での施設建設は出来ない。ただし、送水管付近にはL型擁壁があり、送水管の付替えが必要となる。
- ・段差があるため、別棟での配置となり、維持管理上不利となる。
- ・ストックヤードが1,000m²程度となる。



平地面積	A=15,400m ²	(計画高)
平均標高	H=843.0m, 850.0m	
造成切土量	123,300m ³	切土勾配 1:1.2 1,480m ²
造成盛土量	—	盛土勾配 1:1.8 —
切土擁壁	6,400m ²	擁壁勾配 1:0.3
場内擁壁	1,900m ²	擁壁勾配 鉛直
敷内切土量	9,000m ³	切土勾配 1:1.2 800m ²
敷内盛土量	—	盛土勾配 1:1.8 —
舗装面積	19,300m ²	
場内道路	W=9.0m, 勾配=10%	
取付道路	L=117m, W=9.0m, 勾配=6%	
敷地面積	A=1,900m ²	
管理道路面積	A=6,750m ²	
駐車場面積	A=700m ²	

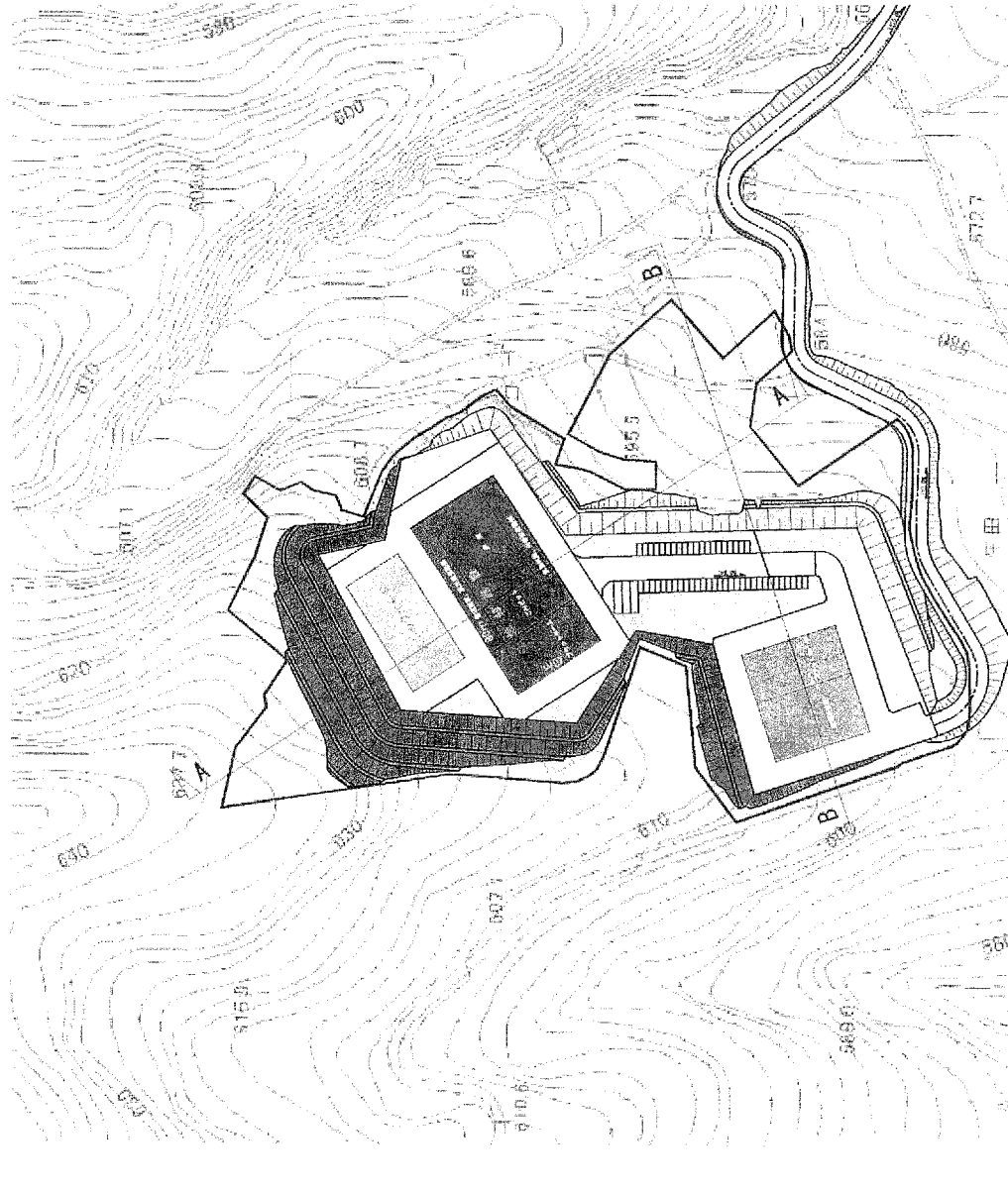
施設概要	
陸揚機設	3,200m ²
リサイクルプラザ	1,800m ²
ストックヤード	1,050m ²
駐車場 (大型)	3台
駐車場 (普通車)	50台

候補地⑤

上田市生田字的場

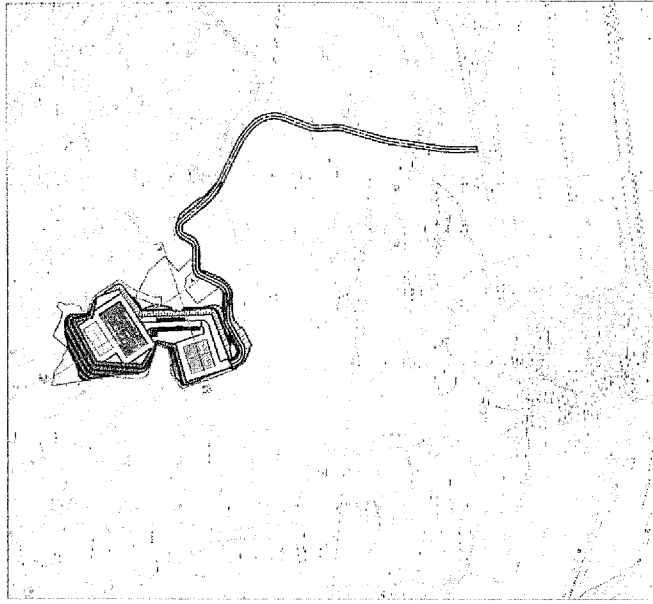
S=1:1000 (A1)

S=1:2000 (A3)



平地面積	A=18,500㎡	(計画高)
平均標高	FH=600.0m、605.0m	
造成切土量	107,000m ³	切土勾配 1:1.2
造成盛土量	23,000m ³	盛土勾配 1:1.8
積込切土量	50m ³	切土勾配 1:1.2
積込盛土量	3,300m ³	盛土勾配 1:1.8
附築面積	28,100㎡	
取付道路	L=851m、 $\mu=9.0$ m、勾配=7~10%	
総地面積	A=4,200㎡	
管理道路面積	A=7,100㎡	
駐車場面積	A=7,700㎡	

施設概要	
増設施設	3,200㎡
リサイクルプラザ	1,800㎡
ストックヤード	1,500㎡
駐車場(大型)	3台
駐車場(普通車)	50台



取付道路位置図

特徴

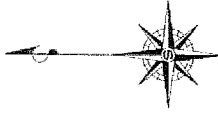
- ・残土量が80,000m³となり、その処理が困難となる。
- ・取付道路がL=851mで最も長い。また、勾配は7%~10%となる。
- ・敷地に段差があるため、別棟での施設配置となり、維持管理上不利となる。

候補地⑥

上田市武石上本入字内之山

S=1:1000 (A1)

S=1:2000 (A3)



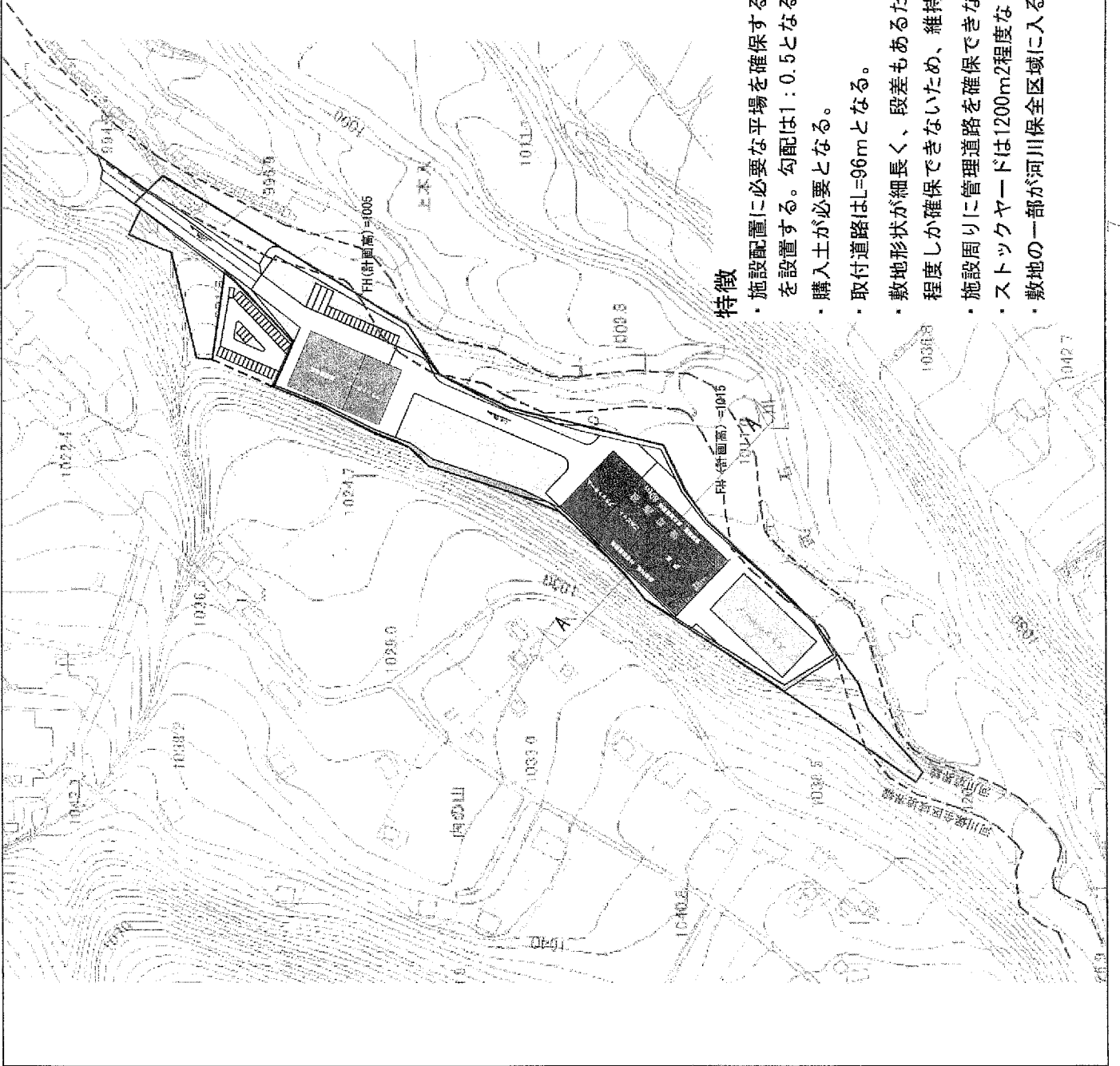
平地面積	A=14,500㎡		
平地標高	FH=1005.0m、1015.0m	(計画高)	
造成切土量	15,300m ³		
造成盛土量	22,100m ³		
造成切土盛壁	1,400㎡	盛壁勾配	1:0.5
造成盛土盛壁	1,600㎡	盛壁勾配	1:0.5
敷入切土量	—		
敷入盛土量	2,700m ³		
敷入切土盛壁	—		
敷入盛土盛壁	250㎡	盛壁勾配	1:0.5
附帯面積	15,800㎡		
取付道路	L=96m、W=9.0m、勾配=10%		
緑地面積	A=3,800㎡		
管理施設面積	A=4,210㎡		
駐車場面積	A=700㎡		

施設概要

焼却施設	3,040㎡
リサイクルプラザ	1,500㎡
ストックヤード	1,250㎡
駐車場 (大型)	3台
駐車場 (普通車)	50台

特徴

- ・ 施設配置に必要な平場を確保するために川側、山側の切土・盛土法面にブロック積擁壁を設置する。勾配は1:0.5となる。
- ・ 購入が必要となる。
- ・ 取付道路はL=96mとなる。
- ・ 敷地形状が細長く、段差もあるため、合棟では配置できない。また、焼却施設の幅は38m程度しか確保できないため、維持管理上不利となる。
- ・ 施設周りに管理道路を確保できないため、建設時及び維持管理上不利となる。
- ・ スtockヤードは1200m²程度なら配置できる。
- ・ 敷地の一部が河川保全区域に入るため、開発を行うには長野県との協議が必要となる。



候補地⑦

長和町 大門口 山日字大門

S=1:1000 (A1)

S=1:2000 (A3)

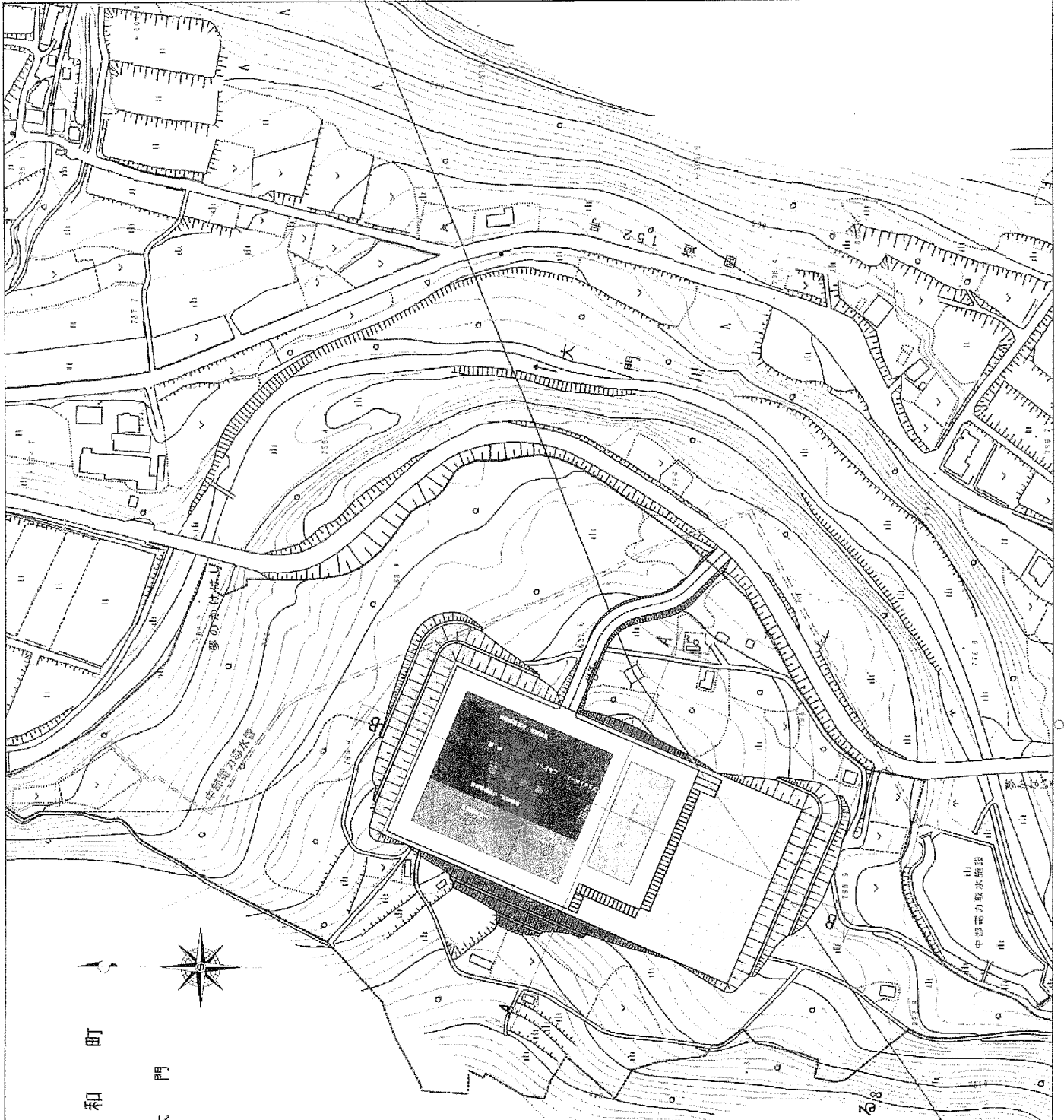
平地面積	A=20,000㎡	(斜面積)	
平地幅	F=806.0m	切土勾配	1:1.2
造成切土量	51,200m ³	盛土勾配	1:1.8
造成盛土量	51,000m ³	切土勾配	1:1.2
盛土勾配	1:1.8	盛土勾配	1:1.8
掘削土量	140m ³		
掘削面積	27,900㎡		
取付道路	L=124m, W=9.0m, 勾配=8%		
総坪面積	A=6,500㎡		
管理用面積	A=4,925㎡		
駐車場面積	A=700㎡		

施設概要

特別施設	4,250㎡
リサイクルプラザ	2,125㎡
ストックヤード	1,500㎡
駐車場(大型)	3台
駐車場(普通車)	80台

特徴

- ・切土と盛土のバランスがとれた造成となる。
- ・取付道路がL=124mとなる。
- ・鉄塔及び発電用送水管が敷地内にあり、造成、施設配置において配慮が必要となる。

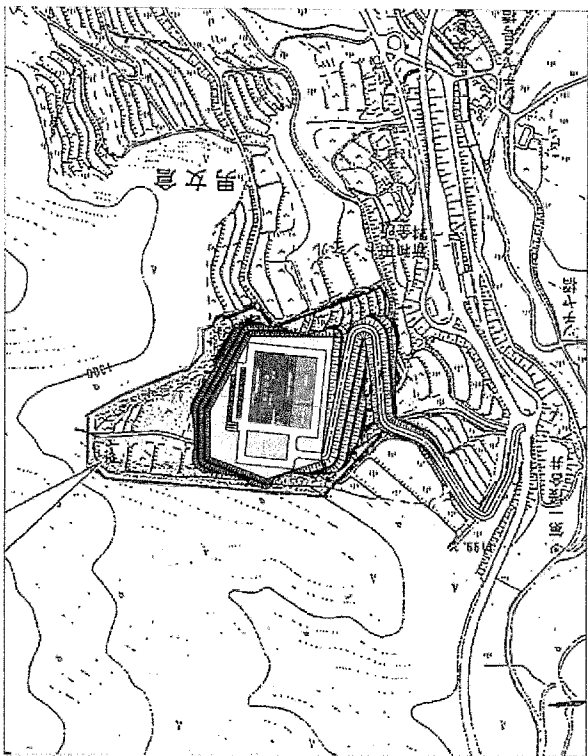
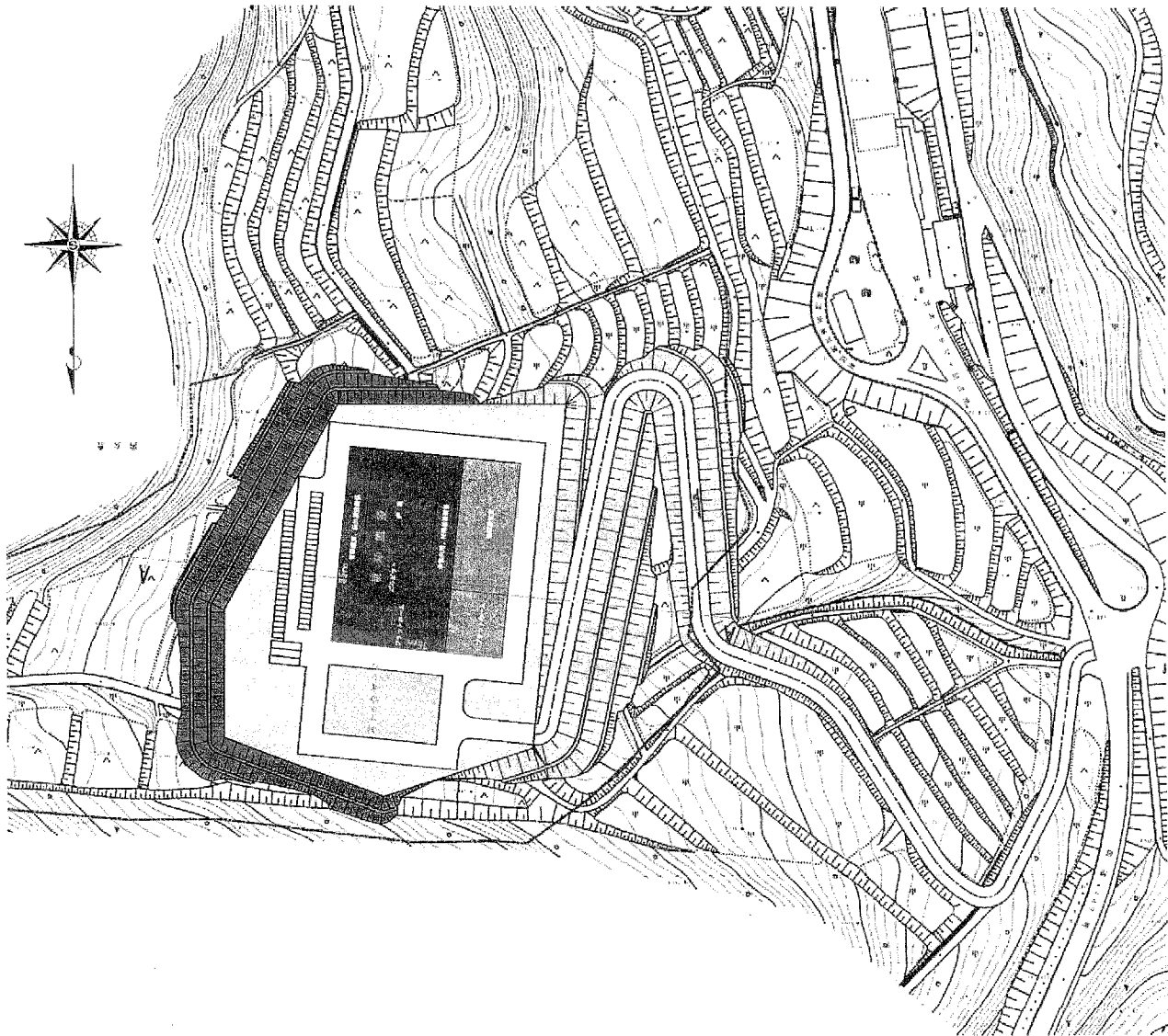


候補地⑧

S=1:1000 (A1)

S=1:2000 (A3)

長和町和田字牧ノ沢



仕様平面図

平地面積	A=20,000㎡			
平均標高	FH=1251.0m			
造成切土量	88,200m ³	切土勾配	1:1.2	7,480㎡
造成盛土量	73,800m ³	盛土勾配	1:1.8	1,160㎡
別入切土量	1,000m ³	切土勾配	1:1.2	—
別入盛土量	53,800m ³	盛土勾配	1:1.8	9,540㎡
開業面積	32,000㎡			
取付道路	L=590m, W=9.0m, 勾配=7.0%			
緑地面積	A=5,700㎡			
管理道路面積	A=5,725㎡			
駐車場面積	A=700㎡			

施設概要	
焼却施設	4,250㎡
リサイクルプラザ	2,125㎡
ストックヤード	1,500㎡
駐車場 (木製)	3台
駐車場 (普通車)	50台

特徴

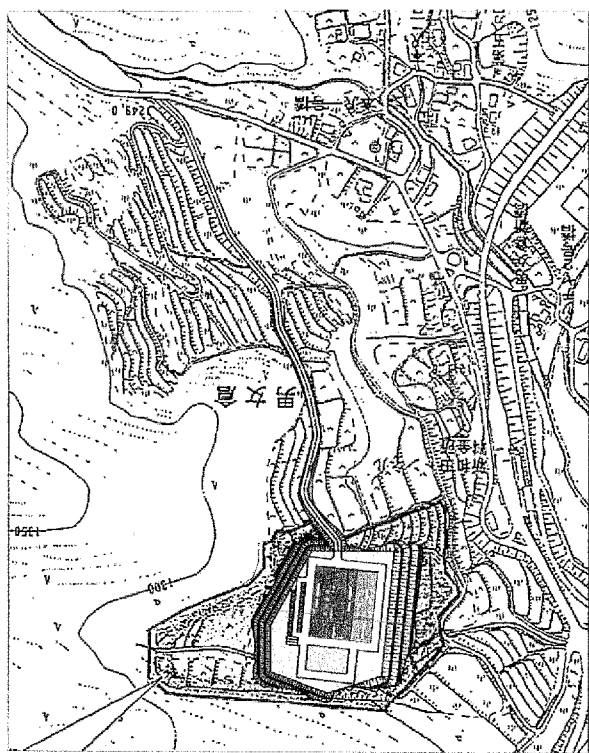
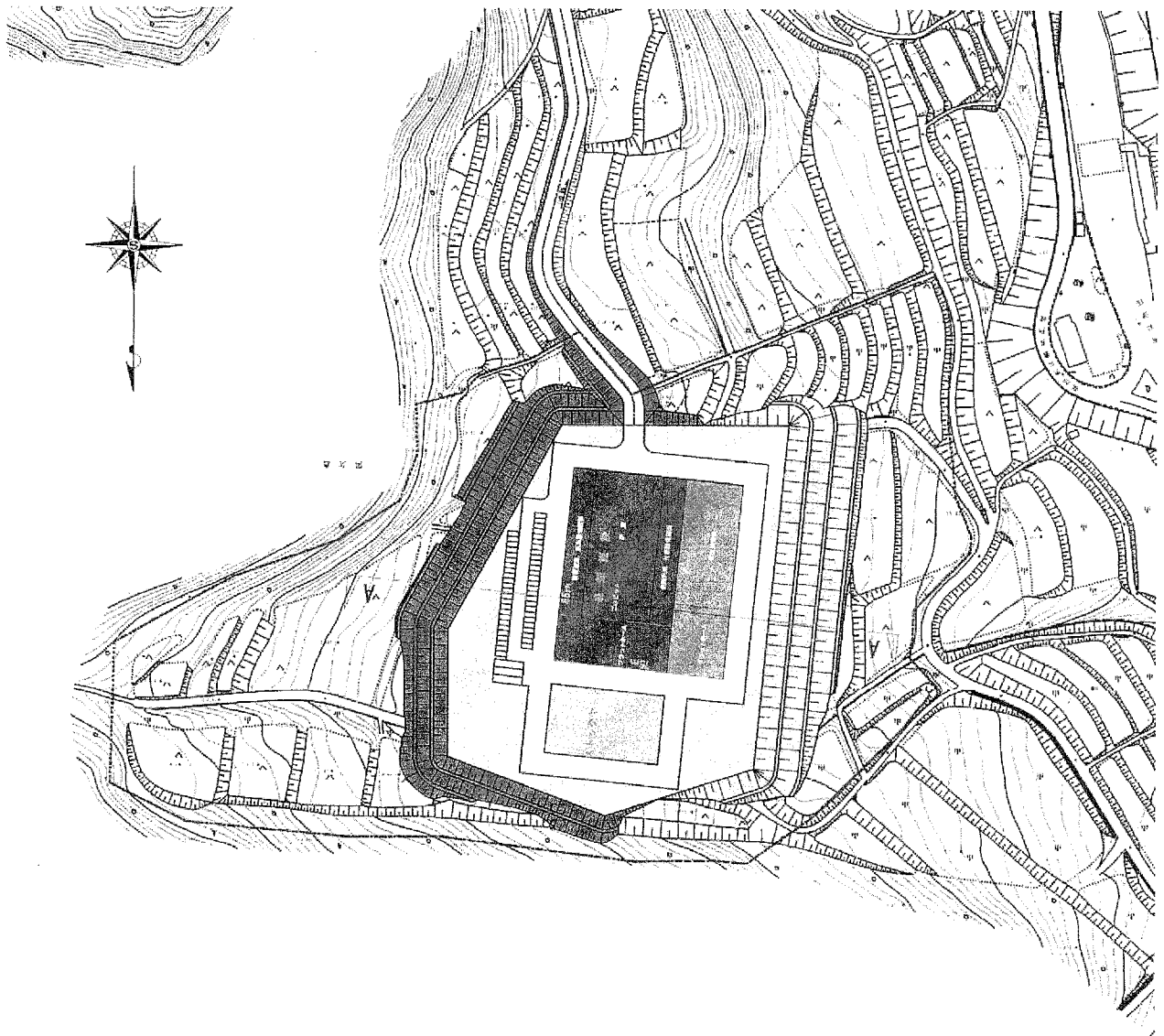
- ・切土・盛土のバランスは比較的良く、他の山間地の候補地に比べると少ないが15,000m³の残土が発生する。
- ・取付道路はL=590mである。また、勾配は7%となる。
- ・取付道路の盛土量が多く、購入土が必要となる。

候補地⑧-2

S=1:1000 (A1)

長和町和田字牧ノ沢

S=1:2000 (A3)



取付道路位置図

平地面積	A=20,000㎡	(計画高)	
平均標高	FH=1251.0m	切土勾配	1:1.2
造成切土量	88,200m ³	盛土勾配	1:1.8
造成盛土量	73,200m ³	切土勾配	1:1.2
外入切土量	8,100m ³	盛土勾配	1:1.8
外入盛土量	160m ³	切土勾配	1:1.2
調整面積	32,000㎡	盛土勾配	1:1.8
取付道路	L=614m, W=9.0m, 勾配=0.5%		
緑地面積	A=6,000㎡		
管理員数回廊	A=5,425㎡		
駐車場面積	A=7,000㎡		

施設概要

施設建設	4,250㎡
リサイクルプラザ	2,125㎡
ストックヤード	1,500㎡
駐車場(大型)	3台
駐車場(普通車)	50台

特徴

- ・切土・盛土のバランスは比較的良く、他の山間地の候補地に比べると少ないが残土処理量が15,000m³発生し、処理をするのが困難である。
- ・勾配の緩やかな県道からのルートを取付道路とした。このときの取付道路延長はL=614mとなる。

資源循環型施設建設候補地選定検討委員要綱・名簿

上田地域広域連合資源循環型施設建設候補地選定検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 上田地域広域連合（以下「広域連合」という。）が進める資源循環型施設の整備計画において、建設候補地の選定を行うため、上田地域広域連合資源循環型施設建設候補地選定検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 資源循環型施設の建設候補地の選定
- (2) その他広域連合長が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員16人をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから広域連合長が委嘱する。

- (1) 広域連合の構成市町村の廃棄物担当部課長の職にある者
- (2) 広域連合の構成市町村の企画担当部課長の職にある者
- (3) 広域連合事務局長

(委員長の職務)

第4条 委員会に委員長を置き、広域連合事務局長をもって充てる。

2 委員長は、会務を総理する。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が必要と認めたときに招集し、委員長が会議の議長となる。

2 委員が都合により出席できない場合は、委員が指名する者を代理に出席させることができる。

3 委員長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(ワーキンググループ)

第6条 委員会に建設候補地の選定に係る調査・検討等の作業を行うため、ワーキンググループを置く。

2 ワーキンググループは、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 広域連合の構成市町村の廃棄物担当係長の職にある者
- (2) 広域連合の構成市町村の企画担当係長の職にある者
- (3) その他広域連合の構成市町村の土木、農政、文化財等の関係職員

3 ワーキンググループに長を置き、広域連合事務局ごみ処理広域化推進室長をもって充てる。

4 ワーキンググループの長は、ワーキンググループにおいて調査・検討した事項等について、委員長に報告しなければならない。

(庶務)

第7条 委員会及びワーキンググループの庶務は、広域連合事務局ごみ処理広域化推進室において処理する。

(補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年5月14日から施行する。

資源循環型施設建設候補地選定検討委員会名簿

平成22年5月14日現在

市町村名	所 属	氏 名
上田市	政策企画局長	宮 川 直
	市民生活部長	鈴 木 栄 次
	政策企画課長	岡 田 洋 一
	廃棄物対策課長	田 中 行 房
	丸子地域自治センター市民生活課長	関 尾 修 一
	真田地域自治センター市民生活課長	大 塚 久 文
	武石地域自治センター市民生活課長	山 口 英 宏
東御市	総務部長	田 丸 基 廣
	市民生活部長	山 浦 秀 司
	企画課長	清 水 敏 道
	市民課長	土 屋 共 和
長和町	企画財政課長	竹 内 邦 義
	町民福祉課長	羽 田 茂 幸
青木村	総務課長	島 形 和 宏
	住民福祉課長	関 晴 夫
上田地域広域連合	事務局長	中 澤 照 夫

資源循環型施設建設候補地選定検討委員会ワーキンググループ名簿

市町村名	所 属	氏 名
上田市	廃棄物対策課リサイクル推進係長	石 井 正 俊
	政策企画課政策企画担当係長	浅 野 寿 次
	丸子地域自治センター市民生活課市民サービス担当係長	宮 沢 昭 博
	真田地域自治センター市民生活課市民サービス担当係長	藤 沢 久 雄
	武石地域自治センター市民生活課市民サービス担当係長	下 城 健 次
東御市	市民課クリーンリサイクル係長兼東部クリーンセンター係長	白 石 三 郎
	企画政策係長	岩 下 正 浩
長和町	町民福祉課生活環境係長	宮 下 曾 平
	企画財政課まちづくり政策係長	藤 森 和 明
青木村	住民福祉課国保衛生上下水道係長	若 林 喜 信
	総務課企画係長	多 田 治 由

事 務 局

所 属	氏 名
ごみ処理広域化推進室長兼丸子クリーンセンター所長	堀 内 英 昭
総務課長	中 村 博 美
ごみ処理広域化推進室係長	増 田 真 一
ごみ処理広域化推進室主査	塩 入 学